

令和7年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山ろう学校

校長名：吉田 幸子

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

聴覚障害教育の専門性を発揮し、本校はもちろん県下すべての学校等における聴覚障害のある幼児児童生徒が自立し、貢献し、自己実現ができるとともに、豊かな社会を創る担い手として活躍できる力を育てる学校。

学校評価の公表方法

PTA 役員会、学校運営協議会、職員会議、ホームページ等の場において公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）								学校関係者評価（〇月〇日実施）	
番号	計画・取組				評価（〇月〇日現在）				
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策		
1	聴覚障害教育における専門性の継承と向上	B	聴覚障害教育に関する研修の充実	新任者研修の実施（年9回） 和歌山県教育オーディオロジー研修の実施（年6回）					
			聴能、発音・発語、自己理解、言語についてのプログラム作成と発表（3カ年計画：今年度は3年目）	教科研（グループ別研修）の実施（年7回）					
			教職員の手話力向上と地域への手話啓発	手話学習会（職員対象 年9回） 県民カレッジ手話講座（年4回）					
2	授業の改善及び授業力の向上	C	授業力向上を目指した研修の充実	学部研（年7回）の実施 公開授業研（12月）の実施					
			教員が互いの授業を参観し、特に他学部について学び合う機会の設定	授業参観期間の設定（年3回） 授業感想シートの活用					
			「個別の指導計画」の作成と活用についての充実	個別の指導計画作成期間の設定 こどもの実態把握について各学部で協議の実施（年3回）					
3	センター的機能の充実と地域との連携	C	県内聴覚支援体制（4校連携）の充実に向けた、校内教育相談組織体制の強化	教育相談に各学部から教員が参加する機会を設定					
			ホームページ、インスタグラム等を活用した本校の教育活動等の情報発信	H P の改善、インスタグラムの地域への周知、回覧板の利用					
			近隣住民の方々との連携	挨拶の促進 通学時間帯の交通安全指導					
4	安心・安全な学校づくり	B	こどもの人権（権利）を大切にした学校づくり、児童会・生徒会活動	制服変更についての意見聴取 こどもの権利に関する研修（年1回）					
			実用的な訓練計画の作成と実施	訓練の実施（年7回） 近隣校と避難計画の情報交換					

